

# 生徒指導だより

続・遅刻特別号(第4号)

## ◆さあ、中間テストだ。

家庭訪問が終わり、ゴールデンウィークも終わり、いよいよ昨日からは中間テスト発表。1年生については、二中で受ける初めての定期テストですね。1年生については、テストの受け方についてまた説明があると思います。小学校とはテストの受け方が全く違います。聞き洩らさないようにして、正しくテストを受験しましょう。

## ◆しかし、しかし！残念なことがある。

家庭訪問の期間に、生徒指導だより第3号として、「遅刻特別号」を発行しました。それからというもの遅刻は減っていきました。

日付	4月26日(金)	4月30日(火)	5月1日(水)	5月2日(木)	5月8日(火)
遅刻者数	12人	18人	24人	16人	9人

ところが、家庭訪問が明けた5月9日には一気に激増です。

日付	5月9日(水)	5月10日(木)	5月11日(金)	5月13日(月)	5月14日(火)
遅刻者数	36人	36人	38人	43人	29人

午前中授業が終わり、フルタイムの授業になり、50分授業に戻り…と、いつもの中学校生活に戻っているだけではありませんが、負担感があるのでしょうか…。家庭訪問中の遅刻者は、9日以降の遅刻者にほぼ確実に含まれています。つまり、この遅刻者激増は、今まで遅刻していなかった子たちの遅刻が原因である可能性が高いのです。

以上の状況を受け、今週を「遅刻をなくそう週間」として、遅刻をしてしまった子については、担任の先生から個別にお話をさせていただき、遅刻をなくすためにどうすればいいかを一緒に考えます。それでも遅刻がなくなる場合は、ご家庭にも連絡を入れて、おうちの方とも一緒に考えていきたいと思えます。遅刻が常習化してしまっているという生徒も確かにいますが、気持ちの持ちようで遅刻を無くすことのできるレベルの子はたくさんいます。

「学校に遅刻するのが当たり前。」

「クラスの子にとって、朝礼にあの子がいないのが当たり前。」

これほどクラスにとってさみしいことはありません。



遅刻しているあなた。

遅刻していても、友達と一緒に楽しい感じで登校してくる子が多いです。

でも、クラスであなたを待っている仲間の気持ちを本当に考えていますか？